

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	大阪大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	オオサカダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	大阪府
	大学等名1(代表大学等)学校種別	国立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	海外インターンシップ
	学部・研究科等名	国際共創大学院学位プログラム推進機構 未来共生イノベーター博士課程プログラム部門
	担当教職員名・役職	園山大祐(人間科学研究科教授)、脇阪紀行(特任教授)、田川千尋(特任助教)
受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	10	
受入企業等数	10	
受入企業等名	1. University of Dundee 2. Overland Elementary School3. London School of Hygiene & Tropical Medicine4. City and County of San Francisco, Department on the Status on Women5. Copperbelt University6. Maui Arts and Cultural Center7. Nanjing Nuogu New Material Co., Ltd. 8. International Organization for Migration9. Centro de Idioma Japones Asociacion Peruano Japonesa Cusco10. Asociacion Okinawense del Peru	
インターンシップの分類	1.長期(概ね1か月以上)インターンシップ 3.海外インターンシップ 4.国際機関でのインターンシップ 7.大学院生を対象とした研究インターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	海外において「未来共生」を目指す現場で働く経験を積むことで、本プログラムの目標とする「多文化コンピテンシー」の資質を磨き、将来的に未来共生イノベーターとして活躍できる礎となることを目的としている。本プログラムで得た知見を生かし、自らの専門性を土台としてインターンシップを行うため、インターンシップの実施は3年次後半としている。	
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 4.当該インターンシップは、必修科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	大学院5年一貫コース3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2
2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	当該科目は、リーディング大学院未来共生イノベーター博士課程プログラムの必修科目であり、研修期間は30日以上6ヶ月以内である。原則として、本プログラム3年次の第2学期に実施している。すなわち、当該年度の8月以降に入学し、3月末までに帰国することとしている。	
3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい	
	3-2-1.該当する事前学習の内容	2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	

要素③	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	2.インターンシップ中に、学生が定期的に大学等において教職員と面談を実施している
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	1年次5月頃に最初の説明会を行い「海外インターンシップ」の理念及び目的、研修先の選び方、準備しておくべきことなどを伝える。2年次夏にインターンシップ・セミナーを2日間に渡り開催し、候補となる研修先へのコンタクト、英文履歴書の書き方、面接対策などについて具体的に指導する。2年次終りに進級試験の一環として、進捗状況確認のための面接及び審査を行う。3年次7月に派遣直説明会を行い、旅費の申請や危機管理、渡航中の連絡などについて指導する。随時、海外インターンシップ担当教員、学生、指導教員のあいだで情報交換を行っている。
3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	帰国後、学生は出勤簿と修了書類を提出する。修了書類は研修先が、学生の活動内容、態度、「未来共生」が求めるリテラシーの成長度、企業/組織への貢献度などについて記入したものである。翌年5月のインターンシップ報告会で、インターンシップ中の業務内容、得られた成果のなどについて発表を行う。それに先立ち、報告書を日本語並びに英語で作成し提出。報告書はインターンシップ先にも送付する。	
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	渡航中は、週1回の報告書の提出、月1回のスカイプ面談を行う。業務内容や生活環境の確認のほか、精神面、健康面でも問題がないか確認する。	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	学生は、インターンシップ前に、その研修先を選んだ理由、研修の目的を書いた計画書を数回に渡り作成し、インタビューを受ける。帰国後、インターンシップ中の業務内容、得られた成果のなどを報告書(日本語並びに英語)にまとめ提出、報告会で発表する。それらを複数人の教員で審査し、成績に反映させている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	30日以上6ヶ月以内
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	
5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	30日以上6ヶ月以内、従事時間は90時間以上と定めている。現地での生活からもまなびや気づきを得られるとの考えから、3か月程度の滞在を推奨している。	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	開始前に、研修先と本プログラムのあいだで Memorandum of Understanding with regard to the Internship Program という書面を取り交わし、インターンシップの趣旨や従事内容、期間などを確認する。終了後は、学生の活動内容、態度、「未来共生」が求めるリテラシーの成長度、企業/組織への貢献度などについて記入した修了書類を研修先に作成してもらう。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	別途提出済み
問い合わせ	大学等名	大阪大学
	担当部署名	教育・学生支援部 学生・キャリア支援課
	担当者役職名	
	担当者氏名	

1 せ 先	電話番号	06-6850-6115
	メールアドレス	gakusei-sien-career@office.osaka-u.ac.jp